

【板橋区の特徴】

- 人口は約58万人、そのうち区立小中学校に在籍する児童・生徒は約3万3千人
 - 三田線・埼京線・東上線・有楽町線・副都心線が利用でき、埼玉からのアクセスも抜群
- 《教育長や職員が学校訪問した際の様子を掲載中！「学校訪問のページ（令和8年度）」をご覧ください》

【板橋区が求める教師像】

学び変え続ける教師

【板橋区の教育】

板橋区教育委員会は、2026年からの10年間でめざす、学びの未来像を「**MIRAI SCHOOL いたばし**」という形で、教育ビジョンにまとめました。



いたばし全体をみんなの学びのキャンパスに **MIRAI SCHOOL いたばし** - 教育ビジョン2035 -

「MIRAI SCHOOL いたばし」は、板橋区が2026年からの10年間でめざす、学びの未来像です。いたばし全体を学びのキャンパス（=SCHOOL）として、子どもから大人まで板橋区で暮らす誰もが、急速に変化・多様化していく時代に適応できる5つのチカラをはぐくむことをめざします。

MIRAIという言葉にこめた、5つのビジョン

Motivation : 自分らしく進むチカラ

ありのままの自分を受け入れることで、仲間とともに成長し、未来に進む原動力を持つことができる（自己受容・他者信頼・他者貢献）。

Inclusion : 認め合って生きるチカラ

個性や立場が違って、人の話に耳を傾け、力を合わせて問題を解決することができる（共生）。

Relation : つながり助け合うチカラ

まわりの人を助けるために、社会に貢献するために、自分ごととして誰かのためにできることを探し行動することができる（貢献）。

Activation : 自ら行動を起こすチカラ

やるべきことを、自ら考え、判断し、自分から挑戦することができる（自立）。

Innovation : ゼロから切り拓くチカラ

目に見えない課題に気づき、正解のない課題でも、ゼロからイチを創り出すことができる（創造）。

板橋区では、学校教育の核となる授業において、多様な子どもたち一人ひとりが、自分に合った学習内容、方法、ペース、順序を自己選択、自己決定し、学びを自己調整しながら進める学習過程である「**板橋区授業スタンダードS**」を推進しています。また、授業革新と働き方改革は両輪であるとの考えのもと、各学校が授業革新に向けた時間を生み出すことができるよう「**春季休業期間の延長**」や「**土曜授業の削減**」を行っています。各学校が子どもたちや地域、先生方の実態や思いに寄り添って創意工夫を凝らし、教育活動を充実させることで、「**教育は人が幸せに生きるためにあります**」という、板橋区が最も大切にする理念の実現に迫っていきます。